

個票 22 緑化用種子の選定における外来種などの利用制限〔森4(1)①3-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	外来生物への対策	配慮項目	侵略的外来生物の排除・抑制																
配慮事項	侵略的外来生物の侵入・拡散防止																		
配慮事例	公共工事における外来植物の適正管理・利用																		
内容	<p>●緑化用種子の選定における外来種などの利用制限</p> <p>【解説】</p> <p>公共事業の緑化においては、地域の生態系に悪影響を与えると考えられる外来種や、遺伝子攪乱のおそれがある他地域の在来種の使用を控える必要があります。林道の法面の緑化や山腹崩壊地の緑化回復にあたっては、その工事の目的に応じて、適正に緑化用種子を選ぶ必要があります。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●林道法面の緑化</p> <p>法面の表土流出を防止するため、早急な緑化が必要であることから、侵略性の高い外来種（外国産の在来種を含む）を排除した草本種を選定し、在来種については、周囲からの自然な侵入に任せる方法をとります。</p> <table border="1"><thead><tr><th>種名</th><th>分類</th><th>特徴</th></tr></thead><tbody><tr><td>クリーピングレッドフェスク</td><td>冬草</td><td>高冷地でも好成績。鹿の食害に強い。</td></tr><tr><td>レッドトップ</td><td>冬草</td><td>高冷地でも好成績。2~3年で衰退する。</td></tr><tr><td>バミューダグラス</td><td>夏草</td><td>暑さ、乾燥に強い。</td></tr><tr><td>ホワイトクローバー</td><td>マメ科草本</td><td>窒素を固定する根粒植物。</td></tr></tbody></table> <p>※既設林道の法面緑化施工時の観察結果から、周囲の自生種（木本・草本）が侵入して在来種主体の植生に遷移していくことが確認されています。</p> <p>●山腹崩壊地の緑化・樹林化</p> <p>崩壊地の森林復元は、将来にわたり地域固有の生態系を形成する必要があることから、早期緑化については、次の問題となる種子の使用は禁止し、在来種を使用する場合は、産地の確認を行い、地域に適した種の導入を図っています。</p> <p>また、郷土広葉樹種苗の植栽については、県北部、県南部、淡路島の3ブロックに区分し、原則、各ブロック内で採取した種苗を用いています。</p>	種名	分類	特徴	クリーピングレッドフェスク	冬草	高冷地でも好成績。鹿の食害に強い。	レッドトップ	冬草	高冷地でも好成績。2~3年で衰退する。	バミューダグラス	夏草	暑さ、乾燥に強い。	ホワイトクローバー	マメ科草本	窒素を固定する根粒植物。			
種名	分類	特徴																	
クリーピングレッドフェスク	冬草	高冷地でも好成績。鹿の食害に強い。																	
レッドトップ	冬草	高冷地でも好成績。2~3年で衰退する。																	
バミューダグラス	夏草	暑さ、乾燥に強い。																	
ホワイトクローバー	マメ科草本	窒素を固定する根粒植物。																	

(ア) なお、「兵庫県の外来生物対策に向けた提案」(平成17年、兵庫県の外来生物対策に向けた提案策定委員会)の「付表4 兵庫県で対策が必要な(問題種)一覧」にあげられた下記の植物の種子は配合しないこと。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> アメリカスズメノヒエ(別名:バヒアグラス) | <input type="checkbox"/> シンジュ |
| <input type="checkbox"/> アメリカネシナカズラ | <input type="checkbox"/> セイタカワダチソウ |
| <input type="checkbox"/> アレチウリ | <input type="checkbox"/> セイバンモロコシ |
| <input type="checkbox"/> アレチハナガサ | <input type="checkbox"/> セイヨウイボタ |
| <input type="checkbox"/> イタチハギ | <input type="checkbox"/> タチスズメノヒエ |
| <input type="checkbox"/> イチビ | <input type="checkbox"/> チクゴスズメノヒエ |
| <input type="checkbox"/> オオアレチノギク | <input type="checkbox"/> トウネズミモチ |
| <input type="checkbox"/> オオアワダチソウ | <input type="checkbox"/> ナガハグサ
(別名:ケンタッキーブルーグラス) |
| <input type="checkbox"/> オオカナダモ | <input type="checkbox"/> ナンキンハゼ |
| <input type="checkbox"/> オオオナモミ | <input type="checkbox"/> ネズミムギ |
| <input type="checkbox"/> オオクサキビ | <input type="checkbox"/> (別名:イタリアンライグラス) |
| <input type="checkbox"/> オオフサモ | <input type="checkbox"/> ホソムギ
(別名:ペレニアルライグラス) |
| <input type="checkbox"/> オオブタクサ | <input type="checkbox"/> ハリエンジュ |
| <input type="checkbox"/> オオフタバムグラ | <input type="checkbox"/> ヒメカシヨモギ |
| <input type="checkbox"/> オランダガラシ | <input type="checkbox"/> ブタクサ |
| <input type="checkbox"/> カモガヤ(別名:オーチャードグラス) | <input type="checkbox"/> ホウキギク |
| <input type="checkbox"/> キシュウスズメノヒエ | <input type="checkbox"/> ホソアオゲイトウ |
| <input type="checkbox"/> コカナダモ | <input type="checkbox"/> ボタンウキクサ |
| <input type="checkbox"/> コセンダングサ | <input type="checkbox"/> ホティアオイ |
| <input type="checkbox"/> コマツナギ(外来のもの) | <input type="checkbox"/> メリケンカルカヤ |
| <input type="checkbox"/> シナダレスズメガヤ
(別名:ウェーピングラブグラス) | <input type="checkbox"/> ワルナスピ |
| <input type="checkbox"/> シマスズメノヒエ | |

参考資料	<p>1 「生物多様性に配慮した綠化工法 施工事例集」兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 兵庫県但馬高原林道建設事務所</p> <p>2 「治山技術方針」兵庫県</p> <p>3 「在来種を排除した法面綠化工法」第44回林道研究発表会 兵庫県但馬高原林道建設事務所 兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター</p> <p>4 「安心・安全な広葉樹種苗による造林事業の展開」－郷土の広葉樹種苗安定供給体制整備検討委員会報告書－（平成19年3月 兵庫県）</p>
------	---